

第32回
全国街路事業コンクール

全国街路事業促進協議会

第32回 全国街路事業コンクール 受賞事業一覧

国土交通大臣賞

小田急小田原線（代々木上原駅～梅ヶ丘駅間）連続立体交差事業
東京都

会長賞

城山北公園線 都市計画街路事業
島根県

拝島駅南口整備事業
昭島市

優秀賞

JR鹿児島本線等熊本駅付近連続立体交差事業
熊本県

山形広域都市計画道路事業 3・4・207号 山形老野森線
山形県

特別賞

富士宮駅付近JR身延線鉄道高架事業
静岡県

都市計画道路南吹田駅前線立体交差事業
吹田市

国土交通大臣賞



小田急小田原線 (代々木上原駅～梅ヶ丘駅間) 連続立体交差事業

東京都建設局道路建設部

事業概要

本事業は、小田急電鉄小田原線の代々木上原駅付近から梅ヶ丘駅付近までを地下式で連続立体交差化するとともに、東北沢駅付近から梅ヶ丘駅付近までを複々線化したものである。9か所の踏切を除却したことで、渋滞解消、自動車の走行速度向上につながった。また、地下化された上部では歩行者空間の整備による回遊性が向上しており、今後も様々な施設の立地が計画されている。

表彰理由

東京の既成市街地を南北に分断していた鉄道路線を複々線地下化して、踏切渋滞・事故・騒音・排気ガスの改善など沿線市街地の安全性・利便性・快適性を抜本的に向上させた大事業であり、東京の基幹的交通軸として大きな役割を果たすことが期待される。また、長期間の地下化工事であったが、地元との連絡調整会議開催・駅へのインフォメーションセンター設置・工事情報誌の発行・見学会の開催など、地域の意見への配慮や情報提供に積極的に取り組み、円滑な事業進捗に努めてきた。さらに、地上部の活用についても、まちづくりの一環として様々な主体を巻き込み取り組んできた点も、街路事業におけるお手本となるものとして、非常に高く評価された。

事業延長: 約2.2km
事業費: 約1,653億円
事業期間: 平成16年度～平成30年度



会長賞



城山北公園線 都市計画街路事業

島根県土木部松江県土整備事務所

事業概要

本事業は、松江市の中心市街地において、国宝松江城に至る本路線を整備することで、安全で円滑な道路交通を確保し、地域の活性化と都市機能の強化を図るものである。車道の4車線化により市街地の渋滞が緩和されるとともに、歴史的な街並みの景観に配慮しながら歩道の拡幅と電線類の地中化などを実施したことで、安全で快適な歩行空間が確保され、回遊性向上にも寄与した。

表彰理由

城下町松江市の中心市街地を東西に貫く主要幹線道路として、既存道路を拡幅整備した事業であり、歴史文化継承と交通渋滞解消の両立に取り組んだ非常に優れた事業である。丁寧なまちづくり協議プロセスを経て、地域住民・県・市が連携し、事業を実現するとともに、歴史的資産を意識した素材の活用、城下町としての歴史的街並みの保全・景観への配慮を心掛けている。歩行環境の改善など街路としての機能を満たすだけでなく、歴史的街並みと調和するデザインにより、落ち着いた通行空間が創出されている点が高く評価された。

事業延長：1,047.5m
幅員：29m
事業費：約130億円
事業期間：平成15年度～平成30年度

会長賞



拝島駅南口整備事業

昭島市都市整備部建設課

事業概要

本事業は、JR3線と西武拝島線が乗り入れる拝島駅において、南口駅前広場を含めた都市計画道路を整備したことで、道路交通の円滑化、公共交通機関の乗り換えにおける利便性向上を図ったものである。従前は離れた場所に点在していたバス停留所や自転車駐車を駅前へ集約するとともに、無電柱化や歩道の整備を行ったことで、安全で快適な歩行空間に生まれ変わった。

表彰理由

4本の鉄道が乗り入れる重要な鉄道結節駅であるにもかかわらず、密集市街地内のほとんど空間がなかった駅前で、地形を活かして幹線道路を整備するとともに、駅前広場・バス停・地下駐輪場の整備を実現した非常に優れた事業である。既存道路を大胆に一方通行化するなど交通処理にも意識的に取り組んでおり、バス関連施設を整備したことでバスの行き先・本数がともに増加し、利便性の向上が図られている。また、アクセス道路の整備・無電柱化・デザインの統一にあわせて駅前商店街の再整備を進め、魅力的な都市空間の創出を目指していることが高く評価された。

事業延長：350m
幅員：16～19m
駅広面積：5,600㎡
事業費：約80億円
事業期間：平成18年度～平成29年度

優 秀 賞



J R 鹿 児 島 本 線 等 熊 本 駅 付 近 連 続 立 体 交 差 事 業

熊本県土木部道路都市局都市計画課

事業概要

本事業は、熊本駅及び上熊本駅を含む区間においてJR鹿児島本線及び豊肥本線の高架を行ったものである。
15か所の踏切を除却したことで東西の往来がスムーズになり渋滞が解消されるとともに、踏切事故が解消されたことで安心安全な街に生まれ変わった。
分断されていた市街地が一体化されたことで都市機能が強化され、「熊本の陸の玄関口」としてふさわしい空間となった。

表彰理由

九州新幹線事業と同時にJR鹿児島本線・JR豊肥本線を高架化し、約6kmにわたって分断されていた都市構造を解消した優れた事業である。
初の新幹線建設事業との並行施工という難しい条件の中、県、市、JR九州、鉄道建設・運輸施設整備支援機構が相互に連携し、在来線の仮線を新幹線の高架下に設けるなどの工夫を行った点が高く評価された。
市も駅前広場の再整備、多数の踏切除去に連携して取り組み、交通の円滑化・良好なまちづくりを進めており、今後の駅周辺の発展が期待される。

事業延長：JR鹿児島本線 約6km
JR豊肥本線 約1km
事業費：約626億円
事業期間：平成13年度～平成30年度

優 秀 賞



山形広域都市計画道路事業 3・4・207号 山形老野森線

山形県村山総合支庁建設部都市計画課

事業概要

本事業は、通勤、通学の動脈として利用されている路線において、未整備区間の拡幅と電線共同溝の整備を行ったものである。
狭隘道路の解消により車の走行性・安全性が向上したほか、ゆとりある歩道を設けたことで歩行者や自転車にとっても安全性が確保された。
また、話し合いを重ねた景観への配慮や、地元行事の安全な実施に貢献するなど、地域の活性化にも役立っている。

表彰理由

渋滞の解消及び歩行者の安全を確保しただけでなく、歴史的町並みの確保を最大限に考慮して、天童らしい町並みを市民とともに実現した優れた事業である。両側の歩行空間が大幅に改善されたことで、積雪時における通行の安全性も高まり、市民の暮らしやすさ・住みやすさが向上している。
また、拡幅後に再構築する建物の高さ・色彩・素材については、沿道住民と締結したまちなみ協定に基づき審査するなど、みちとまち全体について沿道住民と統一感のある街並み形成を進めている点が高く評価された。

事業延長：674m
幅員：18m
事業費：約31億円
事業期間：平成15年度～平成30年度

特 別 賞



整備後



整備前



富士宮駅付近 J R 身延線鉄道高架事業

静岡県交通基盤部富士土木事務所

事業概要

本事業は、多くの観光客で賑わう中心市街地を走る路線の交通環境を改善するとともに、線路により分断された市街地を一体的に利用することを目指し、鉄道高架事業及び交差点改良事業を実施したものである。
踏切の除却により渋滞が解消されたほか、歩行空間が確保され、交通環境が改善につながった。
また、分断されていた地域コミュニティの再生、憩いの場の創出にも寄与した。

表彰理由

JR身延線を立体化することにより、慢性的な交通渋滞を解消し、歩行者の安全を確保するとともに、鉄道を挟む両地域のうるおいある街づくりを可能とした優れた事業である。
浅間神社・世界遺産センターと駐車場や遊歩道との連携が高まったことで、観光振興にも大きく寄与しており、外国人観光客で賑わい市民が多く往来する新観光都市の重要箇所において、観光客・市民双方にとって安全で快適な空間を創出していることが評価された。

事業延長: 250m(鉄道高架延長 739m)
幅 員: 18~19m
事業費: 33.7億円
事業期間: 平成19年度~平成30年度
(鉄道高架切替: 平成24年度)

特 別 賞



都市計画道路南吹田駅前線 立体交差事業

吹田市土木部

事業概要

本事業は、南吹田新駅へのアクセス道路としてJR京都線のアンダーパスを整備することで、吹田市南部における東西方向の交通路を確保するとともに、鉄道による地域分断の解消を図るものである。
周辺に迂回していた交通が転換したほか、新たなバス路線が開設され、公共交通の利便性も向上した。
また、無電柱化やバリアフリー動線を確保し、安全で快適な歩行者空間を形成した。

表彰理由

JR京都線8線をアンダーで越えるアクセス道路と新設されたJRおおさか東線の南吹田駅前広場の同時整備工事であり、道路交通および鉄道利用の利便性を抜本的に向上させた優れた事業である。
鉄道による地域分断が解消され、周辺街路を迂回していた交通が排除されることにより、安全性・利便性が著しく向上した。
また、アンダーパスにおける最小土被りが1.6mという条件の中で、工法の選定、精度管理を意識した点で努力が感じられた。

事業延長: 390m
幅 員: 14.3m~26.7m
事業費: 113億円
事業期間: 平成23年度~平成30年度

第32回 全国街路事業コンクールの結果について

全国街路事業促進協議会では、国土交通省の後援を受け、平成元年から「街路整備に優れた業績をあげている地方公共団体等を表彰し、望ましい街路事業の推進と整備基準及び技術水準の向上を図ること」を目的として、「全国街路事業コンクール」を実施しています。

第32回全国街路事業コンクールでは、全国の都道府県から推薦された18事業について、審査委員会（審査委員長 高橋洋二 東京海洋大学名誉教授）による、第1次審査及び、第2次審査の厳正なる審査を行い、7事業の入賞が内定しました。

その後、全国街路事業促進協議会役員会において表彰事業として決定しました。

審査委員会 委員名簿

委員長	高橋洋二	東京海洋大学名誉教授	委 員	吉岡耀子	交通ジャーナリスト
委 員	佐々木葉	早稲田大学理工学術院教授	委 員	森本章倫	早稲田大学理工学術院教授
委 員	大川朝子	株式会社昭文社出版推進事業部	委 員	野原 卓	横浜国立大学大学院准教授
委 員	清水草一	交通ジャーナリスト	委 員	本田武志	国土交通省都市局街路交通施設課長（令和2年3月まで）
				中村健一	国土交通省都市局街路交通施設課長（令和2年4月以降）



全国街路事業促進協議会とは

目的

都市計画道路の速やかな整備、充実を積極的に推進することを目的として、昭和40年に設立されました。令和2年5月現在の会員数は、都道府県・政令指定都市・区市町村を含め978団体で組織されています。平成26年6月より、横浜市長が会長に就任しています。

主な活動

- 総会・大会及び、政府・国会や地元選出国會議員への支援・協力の要望
 - 概算要求に合わせ、6月に通常総会を開催し、決議及び要望活動等を実施しています。
 - 年末の予算編成時に合わせ、11月に都市4団体との共催において、都市基盤整備事業推進大会を開催し、決議及び要望活動等を実施しています。
 - 11月に道路4団体との共催において、安全・安心の道づくりを求める全国大会を開催し、決議及び要望活動等を行っています。
- 街路事業の促進に向けた会員相互の啓蒙活動や意見交換等の実施
全国9つのブロックに分かれ、事業の促進に関する事項の会議を開催しています。
- 全国街路事業コンクール
街路事業の推進と、整備基準及び技術水準の向上を目的として平成元年から毎年開催し、街路事業の整備を通じ地域経済の発展と住民福祉の向上に資する優れた業績をあげている地方公共団体等を表彰しています。

全国街路事業コンクール

歴代大臣賞受賞事業一覧

第1回 | 常磐浜寺線整備事業

大阪府土木部交通政策課 / 大阪府

第1回 | 若宮西町緑陰歩道整備事業

豊田市都心整備対策室施設整備課 / 愛知県

第2回 | 予讃線丸亀駅周辺市街地活性化事業

香川県善通寺土木事務所 丸亀市都市開発部 / 香川県

第3回 | 都市計画道路 鴨川東岸線整備事業

京都市建設局 / 京都府

第4回 | 都市計画道路 元寺小路七北田線(将監トンネル)整備事業

仙台市建設局 / 宮城県

第5回 | 都市計画道路 宮渚新橋上金井線改良事業

長野県松本市都市開発部 / 長野県

第6回 | 都市高速鉄道阪急京都線(高槻市駅周辺)連続立体交差事業

大阪府土木部 / 大阪府

第7回 | 福岡都市計画都市高速鉄道

西日本鉄道大牟田線(福岡～平尾間)連続立体交差事業

福岡市土木局 / 福岡県

第8回 | 山陽電鉄本線連続立体交差事業

都市計画道路駅前線(駅前広場)整備事業

兵庫県土木部 明石市都市計画部 / 兵庫県

第9回 | 都市計画道路中央線整備事業

秋田県角館町建設課 / 秋田県

第10回 | 東京都市計画道路 幹線街路 環状第8号線井荻立体化事業

東京都建設局第三建設事務所 / 東京都

第11回 | 岐阜駅周辺連続立体交差事業

都市計画道路栄町竜田町線他(駅前広場整備事業)

岐阜県基盤整備部都市整備局 岐阜県岐阜市都市計画部市街地整備局 / 岐阜県

第12回 | 仙石線連続立体交差事業

仙台市建設局道路部 / 宮城県

第13回 | 都市計画道路 環状2号線街路整備事業

横浜市道路局 / 神奈川県

第14回 | 都市計画道路 環状通(北大構内)整備事業

札幌市建設局土木部街路課 / 北海道

第15回 | 都市計画道路 開運橋飯岡線街路事業

岩手県盛岡市建設部 / 岩手県

第16回 | 西鹿兒島駅前広場整備事業

鹿児島県鹿児島市 / 鹿児島県

第17回 | 都市計画道路 伊万里駅前線整備事業

佐賀県伊万里市 / 佐賀県

第18回 | 都市計画道路尼崎港 川西線外3線街路事業

兵庫県阪神南県民局・阪神北県民局 / 兵庫県

第19回 | 東京都市計画道路幹線街路 環状第8号線整備事業

東京都建設局 / 東京都

第20回 | 大阪都市計画都市高速鉄道 JR阪和線連続立体交差事業

大阪市建設局 / 大阪府

第21回 | JR土讃線連続立体交差事業(高知駅付近)

高知県土木部 / 高知県

第22回 | 調布都市計画道路3・2・6号 調布保谷線

東京都北多摩南部建設事務所 / 東京都

第23回 | 川内南小泉線(安養寺工区)道路改築事業

仙台市建設局道路部 / 宮城県

第24回 | 山手幹線街路整備事業(震災復興事業)

兵庫県・神戸市・芦屋市・西宮市・尼崎市 / 兵庫県

第25回 | 徳島東部都市計画道路

徳島東環状線 阿波しらさぎ大橋整備事業

徳島県 / 徳島県

第26回 | JR奈良駅付近連続立体交差事業

奈良県 県土マネジメント部 まちづくり推進局 地域デザイン推進課 / 奈良県

第27回 | 東京都市計画道路幹線街路 環状第6号線整備事業

東京都建設局 / 東京都

第28回 | 大分駅付近連続立体交差事業

大分県土木建築部都市・まちづくり推進課 / 大分県

第29回 |

東京都市計画道路幹線街路環状第2号線(新橋・虎ノ門間)整備事業

東京都第一建設事務所 / 東京都

第30回 |

西武鉄道池袋線(練馬高野台駅~大泉学園駅間)連続立体交差事業

東京都建設局道路建設部 / 東京都

第31回 | 松山広域都市計画道路 花園町線整備事業

松山市 / 愛媛県